

事業番号	10 04 02	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県単治山事業費			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	森林づくり推進課		
	施策の総合的展開	4-1 安全な地域社会づくり 4 地域防災力の向上		E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	S29 ~		
	施策展開						

### 1 事業の概要

目指す姿	災害発生時の応急対応や復旧整備を行うとともに、既存の治山施設の土砂除去や修繕など、計画的な維持管理を行うことにより、県民生活の安全・安心な暮らしを確保する。															
現状 (予算編成時)	県内は急峻な地形と脆弱な地質が広く分布しているため、自然災害が発生しやすい状況にある。このような中で、公共治山事業の採択要件を満たさない小規模な災害発生箇所における復旧、または災害発生時の応急対応、既存の治山施設の適切な機能維持等、山間地域の生活の安全に直結する同事業に対する要望は非常に強い。															
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 県費単独治山事業実施要綱														
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)															
	本年度、89箇所です施設整備等を実施し、新たに保全される集落数：50集落を目指す。(公共治山事業と共通目標)															
	② 事業内容 (単位：千円)															
		項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29								
				(当初)	(決算)	(当初)										
	林地荒廃(災害復旧)施設修繕	直接	・公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事 ・破損、劣化している施設の修繕・補強工事 (70箇所)	256,482	312,352	256,482										
	治山施設リフレッシュ	直接	・土砂流木の異常堆積、ボーリング孔の目詰まりの洗浄等の施設の機能回復を図る工事 (19箇所)	21,500	80,763	21,500										
			合計	277,982	393,115	277,982										
事業コスト	区分(単位：千円)				成果目標の達成状況											
	予算額	前年度繰越	27年度	28年度	29年度	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	98,398	78,193	57,060				目標	成果	達成状況					
		補正予算	277,982	277,982	277,982				治山事業により保全される集落数	61集落	51集落		50集落	48集落	未達成	50集落
		合計(A)	52,500	94,000												
	Aの財源	一般財源	428,880	450,175	335,042											
		県債	88,490	92,957	54,214											
		国庫支出金	340,000	354,000	278,000											
		その他	390	3,218	2,828											
	ト	決算額(B)	350,687	393,115												
概算人件費	職員数(人)	15.91	16.11	16.51												
	概算人件費(C)	131,671	127,495	130,660												
	概算事業費(B(A)+C)	482,358	520,610	465,702												
目標に対する成果の状況	本年度89箇所です施設整備等を行ったが、排土や雨水被害の計画調査等を優先したため目標に対して96%となった。(公共治山事業と共通目標)															

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成29年度も平成28年度予算と同額を計上し、引き続き山地災害危険地区等が存在する集落の保全に努める。特に山地災害危険地区の危険度ランクAの箇所及び災害時要援護者関連施設に関する箇所について優先的に整備を進める。